2018年6月18日大阪府北部の地震(DD法による震源分布)

- 大阪府北部において発生したMJMA6.1の地震の後の震源分布は,本地震の震源の北側と 南側で異なる.(北側ではほぼ東傾斜の面状に,南側では南東に高角度の傾斜を持つ面状に分布) - 余震分布は,5km程度の広がりを持つ.

- 本地震の震源は、余震域の最深部付近に位置している.
- Hi-netの初動解(逆断層型)とF-netのMT解ともに東西圧縮軸を持つ.



謝辞:解析には気象庁, 京都大学防災研究所, 東京大学地震研究所, 産業技術総合研究所のデータも使用させて頂きました.

防災科学技術研究所資料